

洪水生活から解放

未給水釜戸地区

57年春には給水開始

来年度着工3億余の大事業

悲願の上下水道敷設

いわき市内の都市環境整備が進む中、多額の工費を理由に振り回されてきた同市渡辺町中上釜戸、松小屋の一部の三地区(三三三戸、七百七十二戸)に悲願の上下水道敷設されることが決まり、二十四日夜、中釜戸公民館で現地説明会が開かれた。席上、田畑市長は五十七年春給水開始を約束した。説明会には百人を超える地区住民が詰めかけたが、やっと洪水から解放されるという顔ほほで喜びを吐き出した。

市内には上下水道の設備のない地区がいくつかあるが、中でも渡辺地区は「これ程深刻な大工事になる所はない(田畑市長)」といわれている。

市水道局の工事によると、百六十戸の給水戸に配管しているのが七十戸(三三三戸)で、このほか川水が四十五戸(二百二十八戸)、沢水が四十七戸(百九十八戸)に配管されている。これら三地区は、この水資源に乏しいが三戸(六人)もある。しかし「井戸」といっても有限であり、良質の水に恵まれるのは少なからず大半の家では井戸水と川水を併用して

井戸水は飲食用

ふる、洗たくは川、沢水

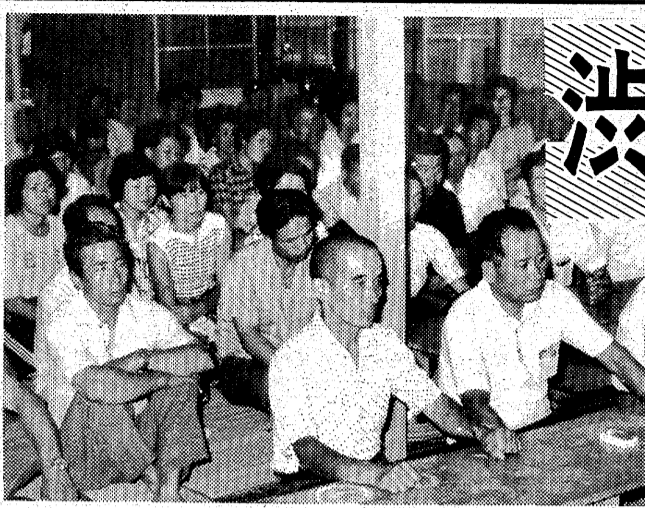
中釜戸の渡辺町三三三戸の方では井戸水は飲料だけに決めた。ふる、洗たくなどは五百戸離れた山中の沢水を運ぶ。チョロチョロ流れる沢水をラムかんにつめ、小型トラックにポリバケツを積み、たいまつで照らす。二年前に七万円をはいたという過機を買った。「やっと透明になった。前に、水を飲むのが白濁した。だから湯加減が難しく、熱くしすぎても足し水が出来なかつた。ぬるぬるのまま待つてた。」

上釜戸の土産業馬場長さん(五七)は「井戸水は不足し、ふるはわゆる、洪水。それでも過機でバケツ一杯分を確保。これでバケツ一杯分を確保。これら二つの炊飯、飲料に用いる。洗たくやふるは自宅前を流れる飲用水をポンプで揚げて使う。一昔前だが、川へ洗たく



県人事 委員長に馬目氏

県人事委員会委員長の馬目俊次氏(五七)が、六月県議会に選ばれた。六月県議会に選ばれたのは、馬目俊次氏(五七)を互選した。これに先立ち午前九時から馬目新委員長の辞令交付式が知事室で



馬目新委員長は、県秘書課長から臨時委員に、三十八年七月、大和田平市政に迎えられる。四月一年いわき市合併に引き継ぎ市助役を務め、四十九年九月まで十二年間、大和田・馬目コンビによる市政発展に努めた。

滝県議、自民党を離党

無所属同士の決戦へ



滝正深県議

今秋行われるいわき市長選に出馬を予定している滝正深県議(五七)は、二十五日午前、自民党県連の幹事本部長と面談し、離党届を出し受理された。これで九月十一日告示、十月三日投票の市長選は、前同僚、現職、田畑市長と、滝正深と滝正深の決戦となる。滝正深は、自民党を離党し、無所属として出馬する。滝正深は、自民党を離党し、無所属として出馬する。

バス乗客2人ケガ

トラックに追突

二十四日午前八時二十五分ごろ、いわき市平字堂一六地内のバス(ワンマンカー)が、同市四丁目字大坂(四五)運転中、バスに乗っていた二人の乗客がケガをした。バスは、同市四丁目字大坂(四五)運転中、バスに乗っていた二人の乗客がケガをした。バスは、同市四丁目字大坂(四五)運転中、バスに乗っていた二人の乗客がケガをした。

住民の要請で野犬

狩りを実施 野犬団地

平保団地のはずれ、野犬団地を対峙し野犬狩りを実施し、六匹を捕獲、処分した。同団地は、団地内から野犬を「捕獲しよう」として、野犬狩りを実施した。同団地は、団地内から野犬を「捕獲しよう」として、野犬狩りを実施した。



バス乗客2人ケガ、トラックに追突。二十四日午前八時二十五分ごろ、いわき市平字堂一六地内のバス(ワンマンカー)が、同市四丁目字大坂(四五)運転中、バスに乗っていた二人の乗客がケガをした。バスは、同市四丁目字大坂(四五)運転中、バスに乗っていた二人の乗客がケガをした。

アルバイトキャディーさん募集
仕事はゴルフの助手です(どなたでもできます)

★勤務日 土・日・祝日(AM8:00~PM5:00)
★収入 日給 約5,000円
詳しい事は総務課までご連絡下さい

小名浜カントリー倶楽部
いわき市小名浜上神白 ☎0246-52-1411代

競技会のお知らせ

8月18日	東北クラブ対抗決勝大会	西仙台C.C.
27日	盛夏杯	18H.S.
9月7日	東北アマチュア選手権	大磯シーサイド
23日	シニア競技	アンダーハンダー18H.S.
24日	長月杯	

